

2025
2月

月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第246号①【基準日 2025年1月31日】



🌸 社長メッセージ



インフレ時代の資産運用について

ありがとう投信株式会社
代表取締役社長 長谷 俊介



皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。今年も早いもので2月になりましたが、いかがお過ごしでしょうか？寒さの厳しい日が続いておりますので、体調を崩されないようにくれぐれもご自愛ください。

さて、先月の世界株式市場ですが、米国トランプ大統領の就任に前後して不安と期待が交錯する相場展開になりました。トランプ大統領の就任前は追加関税への警戒感等から新興国株や日本株は売られて下落し、欧州株や米国株は方向感なく推移しました。トランプ大統領就任後は事前の想定通り、初日に100本近くの大統領令に署名しましたが、追加関税の即時発動が見送られたことによって警戒感が和らぎ欧米株式市場は上昇し、米国株のS&P500指数は史上最高値を更新しました。月末にかけては中国発のディープシークの生成AIが既存のものよりも低コストで開発・提供できるとのニュースをきっかけに米国NVIDIAを筆頭に生成AI半導体関連のハイテク株を中心に大きく調整する局面もありましたが、米国は総じて上昇して1ヶ月を終えました。欧州株についてはECBが利下げを継続したこともあり大きく上昇しました。また、日本株については、日銀が金融政策決定会合で0.25%の追加利上げを決定し、為替相場が円高に振れて155円台になる中、ほぼ横ばいとなりました。新興国株についてはリスク回避の売りが出て下落しました。一方で、金（ゴールド）価格については史上最高値を更新し、大きく上昇した1ヶ月になりました。

そのような中、ありがとうファンドは+0.5%の上昇となり、月中24日には基準価額38,507円、純資産額251億2164万円となり、それぞれ過去最高を更新いたしました。



今後の見通しですが、米国トランプ政権が本格的に始動していく中で、対中国を始めとする貿易相手国への追加関税が世界経済や企業収益に大きな影響を与えることが懸念されています。追加関税の発動時期や大きさによって各国の経済や企業収益への影響は大きく変動し、米国に対する報復関税をかける事態となれば、米国にとってもインフレの高止まりや企業収益の悪化などによる経済の下押し、株価の下落要因となるリスクが拡大していくことになるでしょう。また、米国第一主義のもと、不法移民問題や気候変動問題、エネルギー政策や地政学リスクへの対応など、民主党バイデン政権時代からの大きな方向転換が実施されていく見通しのため、国・地域、業種・業界によっては大きな影響を受けるところも出てくると思われます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

日本もトランプ政権の動向に政治経済や株価が大きく左右される展開に変わりはありません。さらに、日本においては少数与党政権の中で7月の参議院選挙を控えて、物価高と税・社会保険料負担の大きさに国民が苦しんでいる



現状を踏まえて、国内の様々な課題に対処していかなければならない、厳しい舵取りが求められる状況が続きます。

いずれにしても、今後の世界経済は米国トランプ政権の政策に大きく左右される不確実な状況が継続していくと考えられますので、世界株式市場はボラティリティの高いマーケットになると思われます。引き続き国際分散投資における資産配分と個別銘柄の選別が重要であり、インフレヘッジやリスクヘッジの観点からの金(ゴールド)への分散投資が有効であると考えております。

インフレ時代の資産運用について

2022年のロシアによるウクライナ侵攻以降、エネルギー・原材料価格の高騰、グローバルなサプライチェーンの見直しによる世界的なインフレが常態化してきています。長らくデフレに苦しんできた日本も食品や生活必需品を中心に一昨年あたりから値上げラッシュが続いており、名目賃金も上昇が続いていますが、物価上昇を考慮した実質賃金は3年連続マイナスで、物価上昇に賃上げが追いついていない状況が続いております。

現在の日本の物価上昇は、景気が良くて需要が多いために価格が上昇するディマンドプルインフレではなく、主にコスト上昇によって価格が上昇するコストプッシュインフレです。そのため、庶民の生活としては物価が上昇して生活が大変であるというのが実感だと思います。これは、現役世代は実質賃金が上らず、年金受給世代は公的年金がマクロ経済スライドによって実質目減りしており、国民の金融資産の大半を占める預貯金の実質購買力も落ちていることが影響していると思われます。

このように物価上昇が続くインフレ時代には国民の生活が苦しくなり、預貯金だけでは実質購買力を維持していくのは難しくなるでしょう。デフレ経済の時は経済活動がシュリンクしてデフレスパイラルに陥って大変でしたが、物価が下がるので相対的にお金の価値が上昇して預貯金の購買力が増加するので、資産運用をしなくても預貯金だけで何とかなっていました。しかしながら、インフレ時代は安全資産と言われる現金や預貯金だけでは実質価値が目減りしていくので資産を守って購買力を維持していくことも難しくなってきます。

そのため、預貯金だけではなく、インフレに強い資産にも分散投資して資産運用していく必要があると考えられます。もちろん価格変動リスクのある資産に投資するので短期ではなく長期で分散投資していくことが大切になってきます。

弊社では、インフレ時代にも対応した国際分散投資で物価上昇を加味した世界経済の成長及び企業の利益成長の恩恵を享受して皆さまの資産を守りながら長期で増やしていけるように運用を継続して参りますので、今後ともありがとう投信をご愛顧いただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

積立投資のすすめ！

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです♪

「定期積立サービス」とは

…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていきながら、複利効果でリターンチャンスとなります。



②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場が良い時も悪い時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。

③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。



タイミングを見計らうのではなく、
時間を味方につけていきましょう！

期間	平均取得単価	損益
1年	35,751円	+6.5%
3年	29,124円	+30.8%
5年	26,146円	+45.7%
10年	20,573円	+85.1%
初回(2004年10月)から	13,368円	+184.9%

投資信託をいつ買えばよいか？とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果が得られます。

＜ご参考＞毎月1万円積立した場合

期間	投資額	評価額
1年	12万円	12万7845円
3年	36万円	47万811円
5年	60万円	87万4036円
10年	120万円	222万1647円
初回(2004年10月)から	244万円	695万2277円

2025年1月31日現在(基準価額:38,088円)

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。

※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。

※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

セミナーのお知らせ

お申し込みは弊社 HP まで♪ (<https://www.39asset.co.jp/seminar/info/>)

セミナータイトル	開催日	開催地	時間	講師
新春セミナー ～2025年世界経済の見通し/新投資先ファンドの紹介～	2月9日 (日)	福岡	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
新春セミナー ～2025年世界経済の見通し/新投資先ファンドの紹介～	2月22日 (土)	大阪	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
新春セミナー ～2025年世界経済の見通し/新投資先ファンドの紹介～	2月23日 (日)	名古屋	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)

別紙セミナー案内もご覧いただければと思います。

住所変更手続きのお願い

お引っ越しをされてご住所が変わった場合は、書面でのお手続きが必要となります。

弊社から変更用紙をお送りいたしますので、ご記入・ご捺印のうえ、新しい住所が確認できる本人確認書類・個人番号確認書類を添付してご返送ください。

尚、お急ぎの場合は、弊社のホームページから変更用紙をダウンロードして印刷することもできます。
変更用紙のご請求・ダウンロードは、こちら(<https://www.39asset.co.jp/guide/change/>)をご覧ください。

「39紹介プログラム」好評実施中！ ～この機会にご家族ご友人に資産形成を勧めてみませんか？～

既に口座をお持ちのお客さまがご友人やご家族をご紹介していただいた場合に、弊社から感謝の気持ちを込めてプレゼント贈呈させていただきます。お客さまのご友人やご家族で、ありがとう投信に興味をお持ちの方がおられましたら、是非ご紹介をお願いいたします。

詳しくはこちら(<https://www.39asset.co.jp/service/campaign/shokai/>)をご覧ください。

ご家族・ご友人

39紹介プログラム

紹介を受けた方がありがとう投信の
新規口座開設+定期積立1万円以上を
6ヶ月継続していただくことで
紹介したお客さまと紹介を受けた方に感謝の気持ちとしてプレゼント贈呈！

3/9
START!

🌸 今月のFP情報コラム

弊社FPが家計に役立つ様々な情報を毎月発信していきます！
皆さまの金融リテラシー向上の一助になれば幸いです。

お金を引き出すときも時間分散！？ 資産運用は引き出し方も大事！

2024 年から新 NISA がスタートし、大きな話題になりました。これをきっかけに教育資金や老後に備えて資産運用を始めた方も多いでしょう。資産運用と言っても、実は大きく資産形成期(積立投資などで資産を増やしていく)と資産活用期(貯めた資産を運用しながら、一部換金しながら守りながら増やしていく)の2つのフェーズに分けることができます。今回は投資信託の資産活用期の出口戦略について、当社の定期換金サービスと併せてお伝えしていきます。



資産運用における資金の換金について

資金の引き出し方は「運用資産をすべて売却する」一括換金と「定期的に少しずつ引き出す」定期換金の2つに大別されます。

◆ 一括換金 … 運用資産をすべて売却する

資産運用には当然価格変動リスクがあり、運用損益は日々変動します。相場が大きく上がっているタイミングで売却できれば利益を得られますが、下落した場合、思っていたような利益を受け取れない恐れがあります。また、すべて売却してしまえば売却金額が確定するため、その後、相場が下落しても影響を受けることはありません。しかし、全売却＝運用をやめてしまうということは今後一切、マーケットの成長を享受して資産を増やすことができなくなります。

お子様の大学資金や住宅購入資金など、使う時期や目的が決まっている資金の場合は、一括売却することも必要になりますが、長期間の老後資金として取崩す方法には適していません。

例えば60歳で全売却した場合、当面使う予定のない余裕資金まですべて預貯金になってしまい、平均寿命を考えると20年以上の間、資金を眠らせておくことになります。現在の預貯金の金利では、インフレによって価値がどんどん目減りしてしまうため注意が必要です。

◆ 定期換金 … 定期的に少しずつ引き出す

定期的に少しずつ売却をしていけばドルコスト平均で換金単価は平準化されるので、時間分散のメリットを享受することが可能になります。安値で一括売却するリスクも回避することができ、相場変動に一喜一憂することがなくなります。

また、平均寿命がのびている今日では「長生きリスク」に備えるために、全部売却せずに一部を取崩したあとも運用を継続して資産寿命を延ばすことが大切になってきます。

定期換金には定額と定率、2つの方法

当社の「定期換金サービス」を活用することで、運用しながら自動的に取り崩すことができます。それぞれのポイントをまとめてみました。

① 定額換金

「毎月〇円」のように一定金額を定期的に取り崩す方法です。毎回の取崩し額が明確なので計画的にお金を使うことができ、老後の生活設計がしやすいということが一番のメリットです。ただ、金額は一定ですが口数は基準価額(時価)によって毎回変わります。基準価額の上昇局面では解約口数が少なくて済むものの、下落局面では多めに取崩してしまうため、運用状況によっては資産寿命が想定よりも短くなってしまう可能性があります。

② 定率換金

保有資金に対して「〇%」と一定の解約率を乗じた金額を取崩す方法です。資産の基準価額が上がった時は取崩し額が多くなる一方で、下がった時には取崩し額は少なくなるため、資産の減少を抑えることができ、資産を長持ちさせる効果が期待できます。また、保有資産のうちの何%かを換金していくので保有残高の減少に伴って取崩し金額も徐々に減少していきます。例えば、保有資産が 2,000 万円、毎年 5% で定期換金した場合、1 年目 100 万円、2 年目は 95 万円、3 年目 90.25 万円となります。(資産価額の変動がないと仮定した場合)しかし、受取り金額が変動するため生活資金として管理しづらい、基本的には資産残高が減っていくため取崩し額も年々減少していく、というデメリットもあります。

	定率	定額
換金方法	保有資金に対して「〇%」と一定の解約率を乗じた金額を取崩す	「毎月〇円」のように一定金額を定期的に取り崩す。
特長	複利運用リターンを長期で享受しやすく、資産寿命を延ばしやすい。 受取額は減っていくが、ずっと受け取れる	受取額が安定しているため、老後の生活設計がしやすい
注意点	取崩し期間の経過とともに受け取れる額が減少する 評価額に応じて受取額が変動してしまうため、老後の計画的な生活費としては利用しにくい	相場下落時は多く取崩してしまうため、運用状況によっては資産寿命が想定よりも短くなってしまう可能性がある
こんな方におすすめ	余裕資金として資産運用を継続しながら、運用成果の一部を取崩して趣味や娯楽などゆとりのある老後生活のために使っていきたい方	老後の生活設計に基づいて計画的に資金を取崩していきたい方

定期的に一定の収入が必要な方は定額、老後の資金計画に余裕があり、なるべく運用を続け資産を長持ちさせたい人は定率での取崩しが好ましいでしょう。

使い切れなかった分はご家族に引き継げる

余命を事前に知ることができないので、ピッタリ使い切る取崩し額はわかりません。そのため長生きした場合の資金枯渇リスクを考え、余裕のある取崩し計画が必要になります。投資信託の場合、使い切れなかった分は将来的にお子さま、お孫さまに資産承継(生前贈与・相続)して、次の世代に引き継いで資産運用を継続していくこともできます。生前贈与や相続で保有残高をご家族の口座に移換した場合、取得日、取得価額が引継がれるため、移管時に利益があるとその利益も引き継がれます。

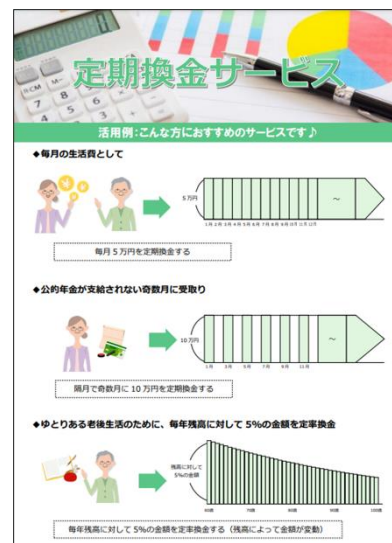
投資信託の「資産活用期の出口戦略」について解説しました。どの換金方法が良いかは、引き出す目的や必要額、資産額などの条件によって異なります。また、換金時の相場環境も影響するため優劣はつけられません。まずは、現在の家計収支をベースに将来の老後収支を考えて「何のために、年間いくらぐらい必要か」を決めてから換金方法を検討していくと良いでしょう。

老後資金の取崩しは、いきなりすべての資産を現金化するのではなく、運用しながら取崩す、時間分散が基本です。資産運用していく中で資産活用期を迎えたシニア世代の方には、定期換金サービスを上手に活用することをおすすめしております。

定期換金サービスの詳しい内容はこちら

(<https://www.39asset.co.jp/guide/kankin/lifesupport.html>)

ご興味のある方は是非ご覧いただければ幸いです。



ありがとうの本棚

弊社役職員が最近読んだ本を紹介させていただくコーナーです。
資産運用や投資、金融や経済全般に関わらず様々な書籍を幅広く取り上げていきます。



～今月の一冊～

入門 シュンペーター 資本主義の未来を予見した天才 (PHP新書) 新書 - 2024/11/19 中野 剛志 (著)

今月ご紹介する一冊は、ジョン・メイナード・ケインズと並んで二十世紀最大の経済学者であるとみなされ、「創造的破壊」という言葉を広め、「イノベーション理論の父」と呼ばれるシュンペーターの理論をわかりやすく解説した入門書です。

本書では、シュンペーターの理論や、彼の影響を受けた現代の理論について解説し、彼の理論が今日の資本主義の本質を理解する上でも極めて有効であることを示しています。そして、日本経済が長い停滞に陥り、日本企業がイノベーションを起こせなくなった理由が「シュンペーターの理論とは正反対のことをやり続けたから」であることを明らかにしています。

また、資本主義とは何か？銀行が無から貨幣を創造する信用創造とは？創造的破壊とは何か？などについて初心者にもわかりやすく解説されています。

日本経済が失われた30年と呼ばれて停滞している間に、日本は諸外国に追い抜かれていっています。政治も経済も何もかも行き詰まってしまったように感じられる今日の日本。このままではいけない、日本はこれからどうして行けばよいのか、資本主義の本質を見抜き、1940年代に少子化を予測したシュンペーターの理論を学ぶことでその答えを見つけることができるかもしれません。大変勉強になりますので皆さん是非読んでみてください。



毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引落日座変更】	【定期の引落日金額を変更】 【定期引落日を中止】	【引落日】	【買付申込日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
2025年 2月分	12月30日(月)	1月27日(月)	2月6日(木)	2月18日(火)	2月20日(木)
2025年 3月分	2月5日(水)	2月21日(金)	3月6日(木)	3月14日(金)	3月18日(火)
2025年 4月分	3月5日(水)	3月26日(水)	4月7日(月)	4月15日(火)	4月17日(木)
2025年 5月分	4月3日(木)	4月22日(火)	5月7日(水)	5月15日(木)	5月19日(月)

ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

2月3日(月)	聖ブリジッドの日	アイルランド	2月17日(月)	ワシントン誕生日	ニューヨーク
3月17日(月)	聖バトリックの日	アイルランド			

ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99% (税抜 0.9%) 以内の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.40% ± 0.2% (概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

■レポートで使用している指数・為替データの注記：騰落率は、ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

※資料に記載されている各国・地域市場の指数は他に断りの無い限り以下の指数を使用しています。

【日本株】→FactSet Market Indices Japan 配当込み(税引き前配当再投資)

【世界株】→FactSet Market Indices World 配当込み(税引き前配当再投資)

【米国株】→FactSet Market Indices United States 配当込み(税引き前配当再投資)

【欧州株】→FactSet Market Indices Europe 配当込み(税引き前配当再投資)

【新興国株】→FactSet Market Indices Emerging 配当込み(税引き前配当再投資)

■R&I ファンド大賞について

R&Iファンド大賞は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

<免責事項 | Disclaimer>

リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。

選定に際しては、「Lipper Leader Rating (リップパー・リーダー・レーティング)システム」の中での「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。



2025 年世界経済の見通し 新投資先ファンドの紹介

新春セミナーを全国 6 都市で開催いたします！

新春セミナーとして、2025 年の世界経済見通しについてお話しさせていただきます。
また、ありがとうファンドの新たな投資先ファンドとなった米国株ファンド 2 本と中国を除く新興国株ファンドのご紹介もさせていただきます。
是非この機会にご参加頂ければ幸いです。皆様のご参加をお待ちしております！

J.P.Morgan
ASSET MANAGEMENT



RBC BlueBay
Asset Management

BrownADVISORY
Thoughtful Investing.

東京

2025 年 1 月 19 日（日）10:00～12:00
ありがとう投信本社 3F

札幌

2025 年 1 月 26 日（日）13:30～15:30
かでる 2. 7(北海道立道民活動振興センター)920 会議室

仙台

2025 年 2 月 2 日（日）13:30～15:30
仙都会館 7F-A

福岡

2025 年 2 月 9 日（日）13:30～15:30
アクロス福岡 604

大阪

2025 年 2 月 22 日（土）13:30～15:30
大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)
セミナー室 2

名古屋

2025 年 2 月 23 日（日）13:30～15:30
ウインクあいち（愛知県産業労働センター） 会議室 908



代表取締役社長
長谷俊介



ファンドマネージャー
真木喬敏



お申込みは、お電話・ホームページからどうぞ
URL: <https://www.39asset.co.jp/seminar/info/>
フリーコール: 0800-888-3900

39 ありがとう投信
Arigato Asset Management inc.

